

浴室のメンテナンス

バスタイムは ゆっくりとリラックスしたいものですね…。そのためにも お風呂は快適にキープしましょう。水をよく使い、湯気がこもる場所なので、傷みやすい場所です。

タイルの補修

1. ひび割れの補修

タイルに ひび割れができる大きな原因は、壁の下地のゆがみです。ご家庭で補修するには、5分で硬化するタイプの透明なエポキシ系接着剤をつかうといいでしょう。このタイプなら、耐久性があり、ひびを埋めながら接着することができます。



ふたつのチューブに分かれたエポキシ系接着剤は、それぞれ同量を取り出してヘラで混ぜ合わせてから使用します。



タイルは 汚れをふき取り、乾かしておきます。ヘラか厚紙で 接着剤を ヒビに擦りこみ、周囲についたら めらした布でふきとります。

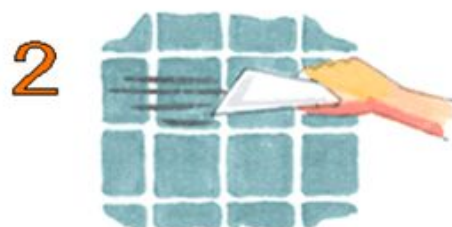
2. はがれの補修

タイルは 1枚はがれると、そこから水がしみこんで 周囲まではがれ落ち、下地も傷めてしまいます。まずは、はがれた部分をタガネなどで きれいに削り落とし、汚れを取り除いて 下地を整えましょう。

- 1. 2枚の補修なら、コンクリート用接着剤か**グレーのエポキシ系接着剤**を利用します。
- 大きな部分を貼り直す場合は、**家庭用セメントに水を加えて練ったモルタル**を使用するとよいでしょう。



下地をととのえたら、タイルの裏に接着剤をダンゴ状に厚く塗り、強くおさえて貼ります。塗りすぎるとはみだすので注意しましょう。



ゴムベラなどを使ってはみ出した接着剤を取り除き、タイルの高さが周囲と同じになるように注意して、目地を埋めましょう。しばらくテープでとめておくと安心です。

3.目地の補修

タイルの目地は、古くなると 欠け落ちる部分がでてきます。
そこから 水が入ると タイルがはがれ、下地や土台が腐食するので、日ごろから 気をつけておきましょう。
●補修剤としては、**粉末のタイル用ホワイトセメント**を使うと、周囲と自然になじみ、カビ取りなども楽です。

1



カビは、カビ取り剤で落します。
目地のヒビ割れ・カケは、マイナスドライバなどで取って、下地を整えます。
つぎに 水をスプレーして湿らせます。

2



耳たぶぐらいのやわらかさに練った目地剤をへらで塗りこみます。
目地の方向にへらを動かしていき、余分な目地剤をおとします。

3



タイルについた目地剤を ぬらした布でふきとります。目地の部分に触れないように注意してください。
乾きかけの状態できれいに仕上げます。

ホウロウ浴槽のカケ

ホウロウ浴槽は、固いものをぶついたりすると 表面が欠けてしまうことがあります。
小さなカケでも、サビや ハガレの原因になるので 手早く直しておきましょう。

●補修剤としては、ホウロウ補修専用の充てん接着剤を使います。

白やアイボリー、淡い青などがありますが、色が合わない場合は、画材店に置いている色粉をまぜるとよいでしょう。

1



欠けた部分と その周囲にサンドペーパーをかけて、サビや汚れを落としておきます。使用するサンドペーパーとしては150番くらいが適当です。

2



浴槽の色に合わせたホウロウ補修専用の充てん接着剤を使います。ふたつのチューブから出して、よく混ぜ合わせておきます。

3



カケが平面部分にある場合は、ナイフなどを使って接着剤をスーッと引きのばすようにして、できるだけ一度で埋めます。

4



コーナー部分は、厚紙を使うと 作業がしやすいですよ。角に合わせて紙をうまくすべらせ、極力1回で埋めるようにしましょう。

埋めこみ式の浴槽の、壁との間のシールが傷んでいたら・・・

埋めこみ式の浴槽は、壁との間のシールが傷むと水が浸入して、下地や土台を腐らせてしまいます。できるだけ手早い対応をしましょう。

はがれてきた古いシールは、指で引っ張って取り除きます。

ほかの部分も カッターで切り込みを入れて取り、一度に全体を補修するようにしましょう。

●補修剤としては、**チューブ式のシリコン系充てん剤**チューブ式のシリコン系充てん剤を使います。

●防カビ剤が配合され、ヘラやマスキングテープが セットされたものを選ぶと便利です。

●ウレタンゴムがテープ状になったシール剤もあり、貼るだけで作業がすんで 簡単です。

1



古いシールパテを取り、汚れやカビをふきとります。よく乾いてから、すき間に合わせて浴槽と壁にマスキングテープを貼ります。

2



すき間の幅に合わせて、充てん剤のノズルの先をカットします。チューブ絞り器をチューブの下部に取り付けておきます。

3



ノズルの先を すき間に当て、絞り器の取っ手をまわして 充てん剤を 絞り出します。押しつけるようにして多めに埋めこんでいきます。

4



充てん剤を 押し込むように、水でぬらしたヘラで表面を一気にならします。マスキングテープをはがし、24時間、自然乾燥させます。